

藤沢

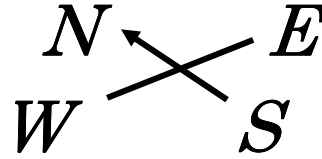
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2013年8月1日

第231号



http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

- 主 事
- ・ 参院選後 国民はどう生活・権利を守るか
- な
- ・ 「パワー・トゥ・ザ・ピープル」と藤野電力
- 記
- ・ 目からウロコの栄養講座 ・ NO2 測定値
- 事
- ・ ジェット機騒音調べ ・ 衣類の放射能測定

参院選後、国民はどう生活・権利を守るか！

7月の参議院選挙では自民党が圧勝し、衆議院に続き、参議院も自公が過半数を制したことで、引き続き、自公連立政権が確認され、今後3年間自民党の思いのままの政治が展開されることになる。

憲法改正・消費税引き上げ・原発再稼働・TPP参加など、国民の求めたものとは相反するものばかりである。政権交代が実現し、民主党政権に期待したが、マニフェスト政策は実施されず国民の生活は変わらなかった。昨年末、自民党政権になり、アベノミクスで円安・株高が進んだが、儲けたのは大企業と富裕層だけだった。

参議院選挙公報で見ると、自民党は「ねじれを解消、政治を安定させる」として消費税引き上げ、改憲、TPPなど具体策には一言も触れていない。民主党は、「暮らしを守る力になる、生活者起点の民主党」というのみ。公明党は「実感できる景気回復へ！震災復興・社会保障充実、憲法・平和を守る」、共産党は「自民党と対決、抜本的な5つの改革提言、景気・憲法・原発・外交・歴史問題」、維新の会は「政治機構の改革・税社会保障制度改革、外交防衛戦略」、みんなの党は「アジェンダみんなの党政策指針」、社民党は、「強い国よりやさしい社会、改憲阻止、消費税増税反対・原発再稼働反対・TPP反対」を掲げていた。

選挙結果は自公両党が圧勝し、これと正面から対決した共産党のみが躍進し、衆参議院のねじれは解消した。早々と安倍首相は、消費税増税・憲法改正、集団的自衛権行使・TPP参加を表明した。アベノミクスで消費者物価は上昇しているのに、賃金は上がらず、家計は火の車である。また、原発再稼働と原発の輸出に力を注ぎ福島原発事故の終息は未だにめどが立っていない。

自民党は現憲法第9条の戦争の放棄条項を廃し、国防軍を保持するなど、日本を再び戦争が出来る国にする憲法改正草案の国会提出を目指そうとしている。自民党参院選政策「日本をとり戻す」には、87ページにわたる具体的な政策が提起されている。

もはや、自公政権による国民生活・権利破壊の政治を阻止するには、政党だけに頼ることなく、個々が自分の生活や権利を自分で守る構えが必要であり、このため、先ず自民党の改憲案や総合政策を検討し、要求を共にする国民個々が結束し、更に、要求で共通する団体・政党とも共同して幅広い国民運動の展開を図ることが出来ないものだろうか。国民こそ主人公である政治の実現をめざして。

(諏訪謙司)



クマゼミの産卵 (辻堂海浜公園)

クマゼミの産卵 (辻堂海浜公園)